

私立学校
歯科保健に関するアンケート

概要報告

令和3年6月

公益社団法人 日本学校歯科医会

調査の概要

1. 調査の目的

私立小・中学校の歯科保健活動の現状を捉えるとともに、児童生徒の歯科保健向上に資する有益な情報提供と意見交換の契機とすることを目的とする。

2. 調査方法

郵送法による質問紙調査とした。

3. 調査内容：回答者（学校）の属性、学校歯科健康診断業務、学校歯科保健教育業務、学校歯科保健の環境・安全、学校歯科医の身分・社会保障、新型コロナ禍での対応、等

4. 調査対象

全国の私立小・中学校

5. 調査実施日

令和2（2020）年11月20日（金）に各学校長宛に協力依頼文書と調査票を発送した。質問紙の回収（投函）締め切り日は、12月11日（金）とした。

6. 回収数（率）

質問紙は、「全国学校総覧2020年版」に掲載の全国の私立小・中学校全国の私立小・中学校の979校（小学校232校、中学校747校）に発送した。調査票は374校（小学校141校、中学校237校）から協力（回収）いただき、回収率は38%であった。

7. 調査実施主体

一般社団法人 日本学校歯科医会（令和3年4月1日より公益社団法人に移行）

結果の概要

【回答者（学校）の属性】

1. 地域（ブロック）毎の回答割合（図1）

小学校（141校）では、「関東」が26.2%と最も多く、次いで「東京」と「近畿・北陸」23.4%、「九州・沖縄」9.2%、「東海・信越」6.4%、「中国・四国」5.0%、「北海道・東北」5.0%であった。中学校（233校）では、「関東」と「近畿・北陸」が20.2%であり、次いで「東京」17.6%、「中国・四国」13.7%、「東海・信越」12.9%、「九州・沖縄」9.9%、「北海道・東北」4.7%であった。

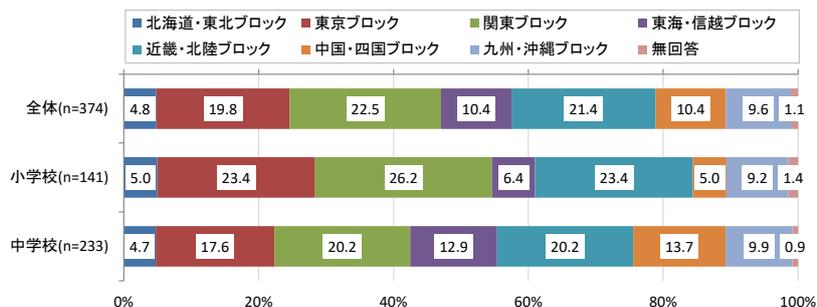


図1 地域【全体・学校別】

2. 調査票の記入者の職種（図2）

- 養護教諭が小学校（141校）で84.4%、中学校（233校）で93.1%と最も多かった。

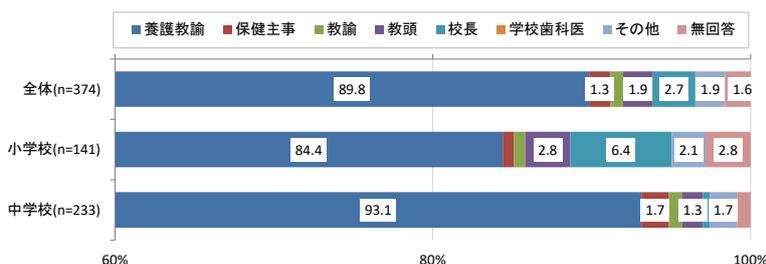


図2 記入者職種【全体・学校別】

3. 学校保健計画・学校安全計画の策定状況（図3-1, 図3-2）

- 学校保健計画・学校安全計画を策定している（「はい」の回答）は、小学校（141校）77.3%、中学校（233校）77.3%であった。

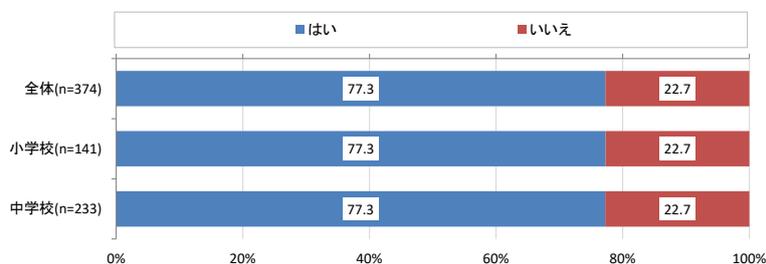


図3-1 学校保健計画・学校安全計画の策定状況【全体・学校別】

- 計画に歯科保健が含まれる（「はい」の回答）は、計画を策定する小学校（109校）で78.9%、中学校（180校）で72.8%であった。

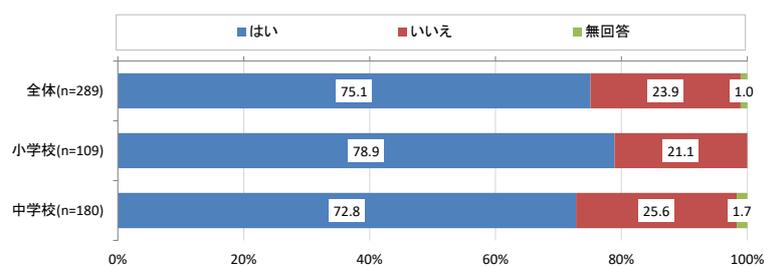


図3-2 計画に歯科保健は含まれているか【全体・学校別】

4. 校務支援システムの導入状況（図4）

小学校（141校）50.4%、中学校（233校）37.8%で、校務支援システムを導入・活用していた。

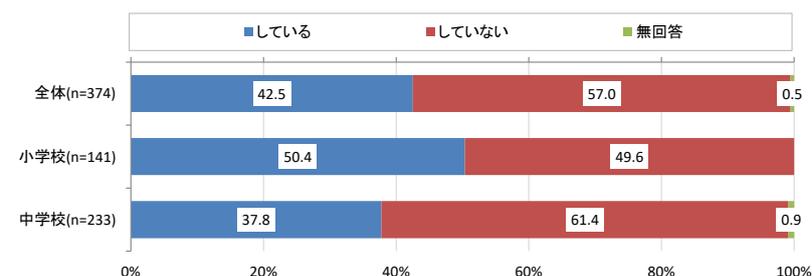


図4 校務支援システムの導入状況（健康診断結果の記録集計の活用）【全体・学校別】

【学校歯科健康診断業務】

5. 健康診断票の様式（図5）

- マニュアル等の例示様式（例示の一部改変も含む）の使用が、小学校（141校）で52.5%、中学校（233校）で52.8%と最も多かった。

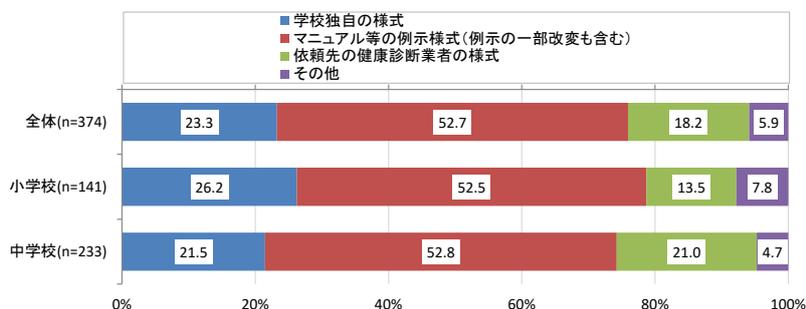


図5 健康診断票の様式【全体・学校別】

6. 歯科健康診断の前の保健調査（アンケート）の実施状況（図6）

- 全生徒を対象に実施が、小学校（141校）40.4%、中学校（233校）39.5%であった。

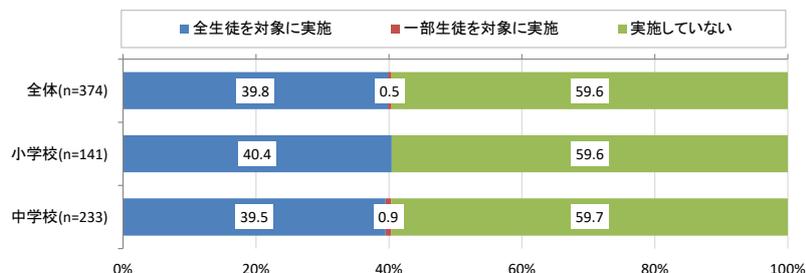


図6 歯科健康診断の前の保健調査（アンケート）の実施状況【全体・学校別】

7. CO・GO等と判定された児童・生徒への事後措置の実施状況（図7）

- 小学校（141校）16.3%、中学校（233校）19.3%で、事後措置として保健指導を実施していた。

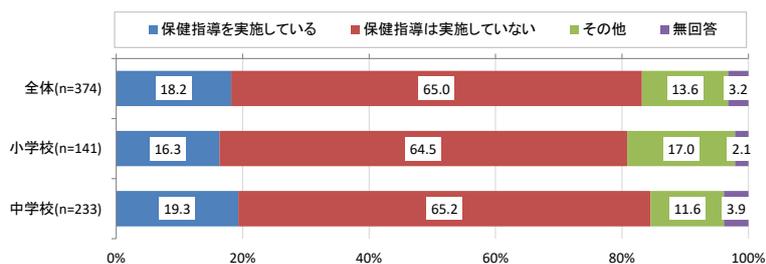


図7 CO・GO等と判定された児童・生徒への事後措置の実施状況【全体・学校別】

8. 健康診断結果の保護者または児童・生徒への通知方法（図8）

- 小学校（141校）の66.7%、中学校（233校）の67.4%は、健康診断結果を全員に通知していた。

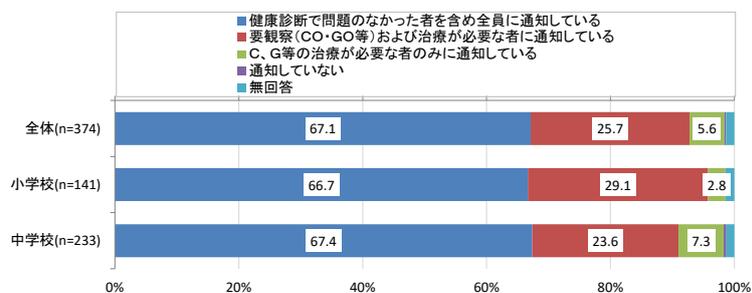


図8 健康診断結果の保護者または児童・生徒への通知方法【全体・学校別】

9. 歯科健康診断の実施者 (図9)

- 小学校 (141校) では「委嘱された学校歯科医のみ」が 51.8%、中学校 (233校) では「委嘱された学校歯科医と応援の歯科医師」が 47.2%と、それぞれ最も多かった。

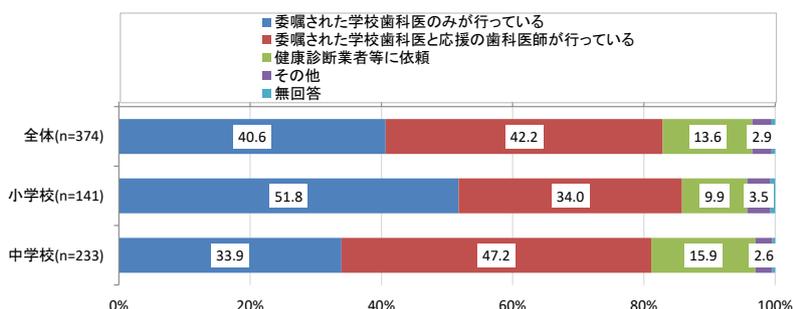


図9 歯科健康診断の実施者【全体・学校別】

10. 学校歯科健康診断の年間の回数 (図10)

- 実施回数1回が、小学校 (141校) で 96.5%、中学校 (233校) で 97.9%であった。

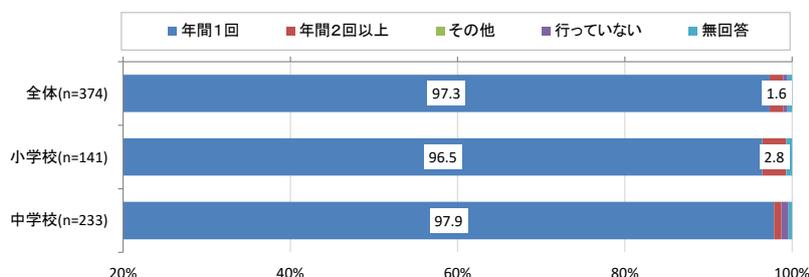


図10 学校歯科健康診断の実施時期状況【全体・学校別】

11. 健康診断後の受診状況の把握の有無 (図11)

- 小学校 (141校) の 94.3%、中学校 (233校) の 88.4%で、受診状況を把握 (「はい」の回答) していた。

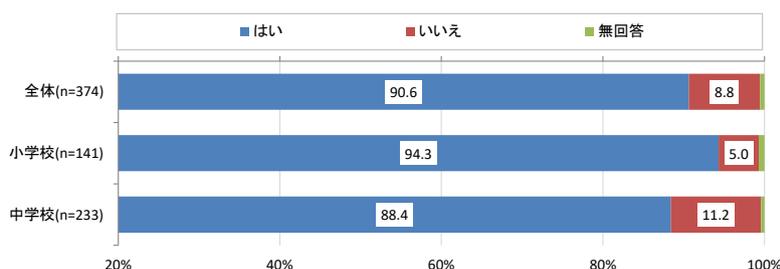


図11 健康診断後の受診状況の把握の有無【全体・学校別】

12. 健康診断結果の活用状況（図 12）複数回答

小学校（141 校）の 38.3%、中学校（233 校）の 27.5%で学校歯科保健教育に活用している一方で、小学校 33.3%、中学校の 45.5%では特に活用していなかった。

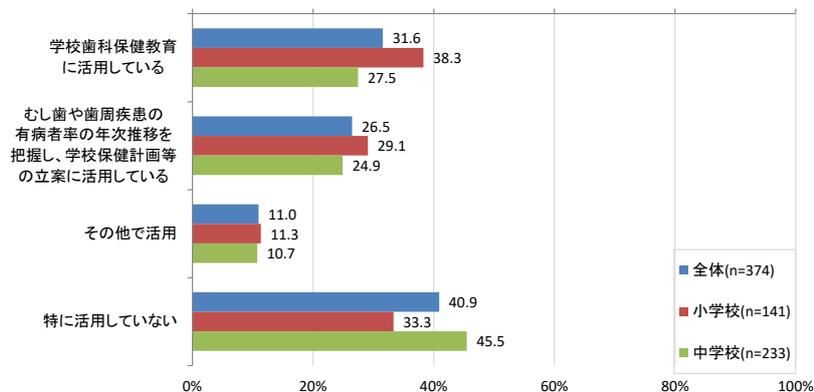


図 12 健康診断結果の活用状況（複数回答）【全体・学校別】

13. 学校歯科保健に関する授業の実施状況（図 13-1～図 13-6）

- 体育科・保健体育科での実施は、小学校（141 校）31.2%、中学校（233 校）28.3%であった。

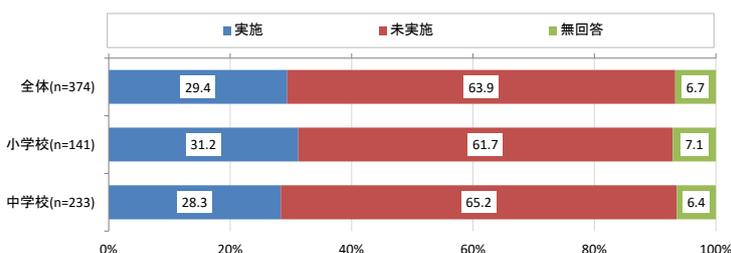


図 13-1 体育科・保健体育科での学習【全体・学校別】

- 体育科・保健体育科以外の生活科，理科等での実施は、小学校（141 校）11.3%、中学校（233 校）6.9%であった。

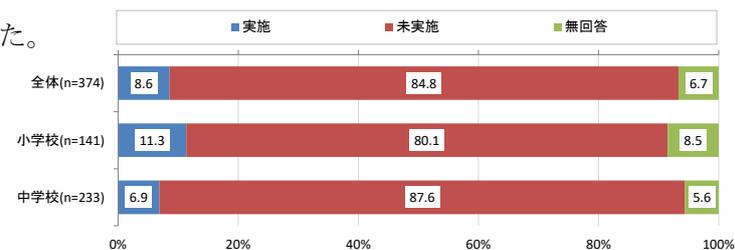


図 13-2 体育科・保健体育科以外の生活科，理科等での学習【全体・学校別】

- 特別活動での実施は、小学校（141 校）22.0%、中学校（233 校）9.9%であった。

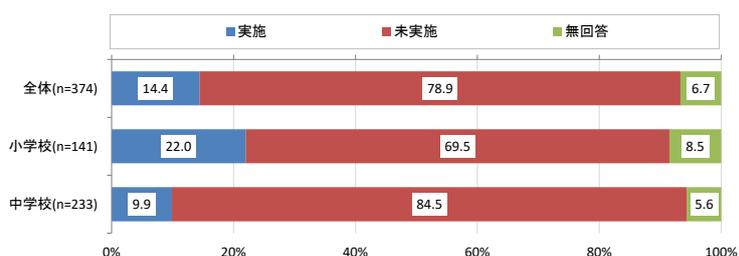


図 13-3 特別活動での学習【全体・学校別】

- 総合的な学習（探求）の時間での実施は、小学校（141校）9.2%、中学校（233校）3.4%であった。

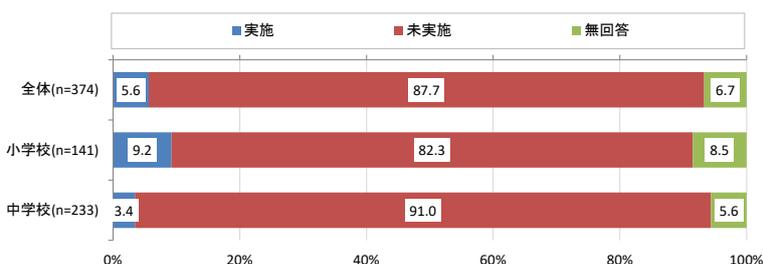


図 13-4 総合的な学習（探求）の時間【全体・学校別】

- 日常生活における指導での実施は、小学校（141校）56.7%、中学校（233校）41.2%であった。

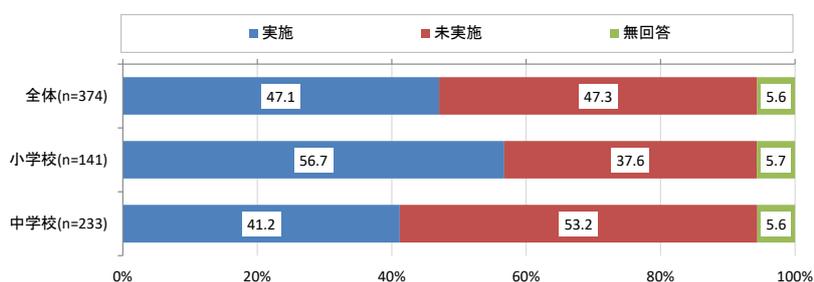


図 13-5 日常生活における指導【全体・学校別】

- 子供の実態に応じた個別指導での実施は、小学校（141校）と中学校（233校）、ともに48.9%であった。

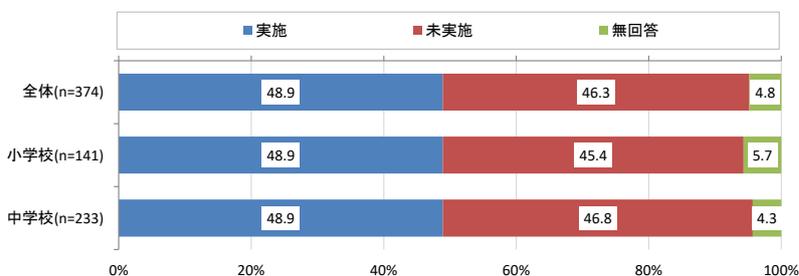


図 13-6 子供の実態に応じた個別指導【全体・学校別】

14. 学校保健委員会の開催状況（図 14-1，図 14-2）

- 小学校（141校）では「定期的に開催」が17.7%、「不定期に開催」が8.5%、中学校（233校）では「定期的に開催」が24.5%、「不定期に開催」が13.3%であった。

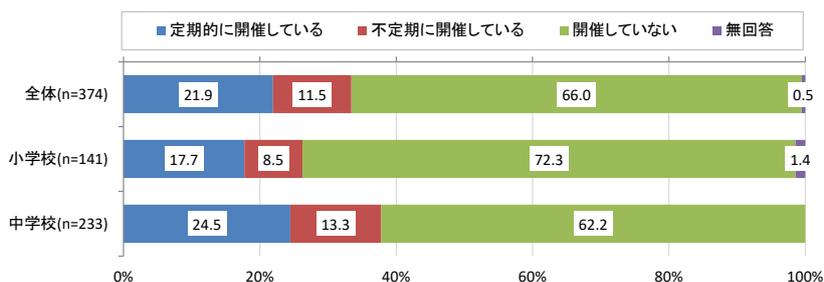


図 14-1 学校保健委員会の開催状況【全体・学校別】

- 学校保健委員会で歯科保健が議題になったことが「ある」は、「定期的開催」または「不定期開催」と回答の小学校（37校）では29.7%、中学校（88校）では25.0%であった。

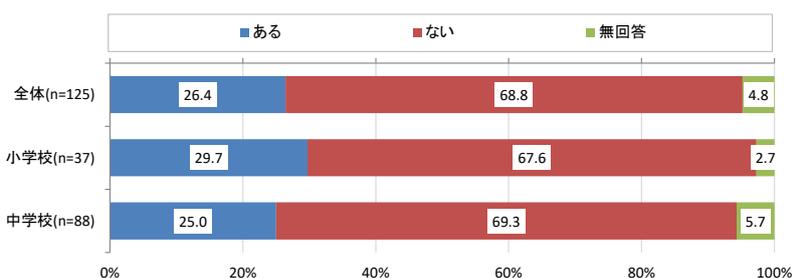


図 14-2 歯科保健が議題になったことの有無【全体・学校別】

15. 昼食後の歯みがきの実施状況（図 15）

小学校（141校）の36.2%、中学校（233校）の66.5%では、児童・生徒の自主性にまかせていた。

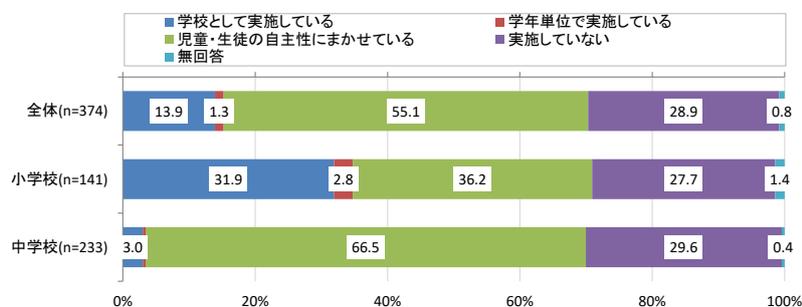


図 15 昼食後の歯みがきの実施状況（新型コロナ禍以前の状況）【全体・学校別】

16. フッ化物洗口の実施状況（図 16）※新型コロナ禍以前の状況

学校としての実施は、小学校（141校）で7.1%、中学校（233校）で0.4%、学年単位での実施は、小学校で2.9%、中学校で0.9%であった。

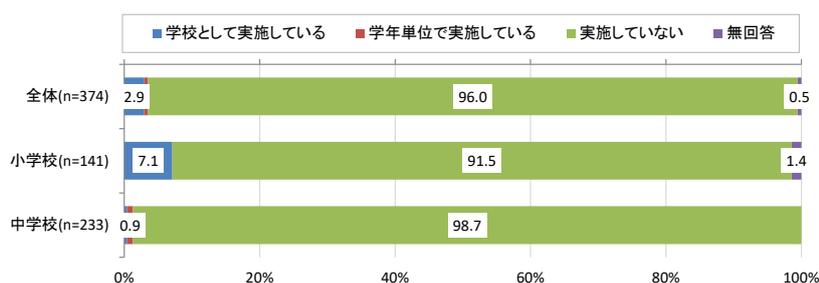


図 16 フッ化物洗口の実施状況（新型コロナ禍以前の状況）【全体・学校別】

17. 歯科保健の表彰事業や図画・ポスターや標語などのコンクール事業の参加状況（図 17）

小学校（141校）の14.2%、中学校（233校）の8.6%で、参加したことがあるとの回答であった。

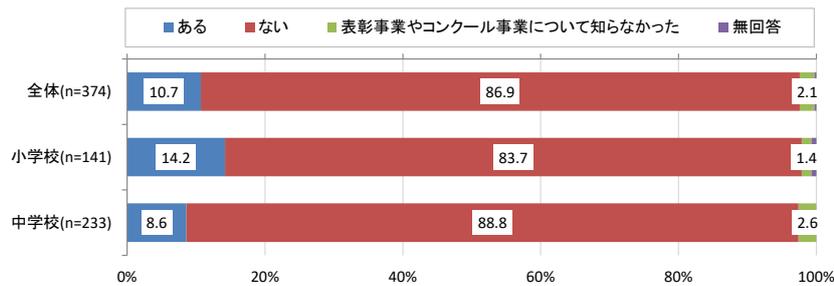


図 17 歯科保健が優良な学校に対する表彰事業や、歯科に関する図画・ポスターや標語などのコンクール事業の参加状況【全体・学校別】

18. 学校歯科保健を推進するうえで課題となっているもの（図 18）複数回答

「時間の確保が困難」が、小学校（141 校）で 42.6%、中学校（233 校）で 57.9%と、最も多かった。

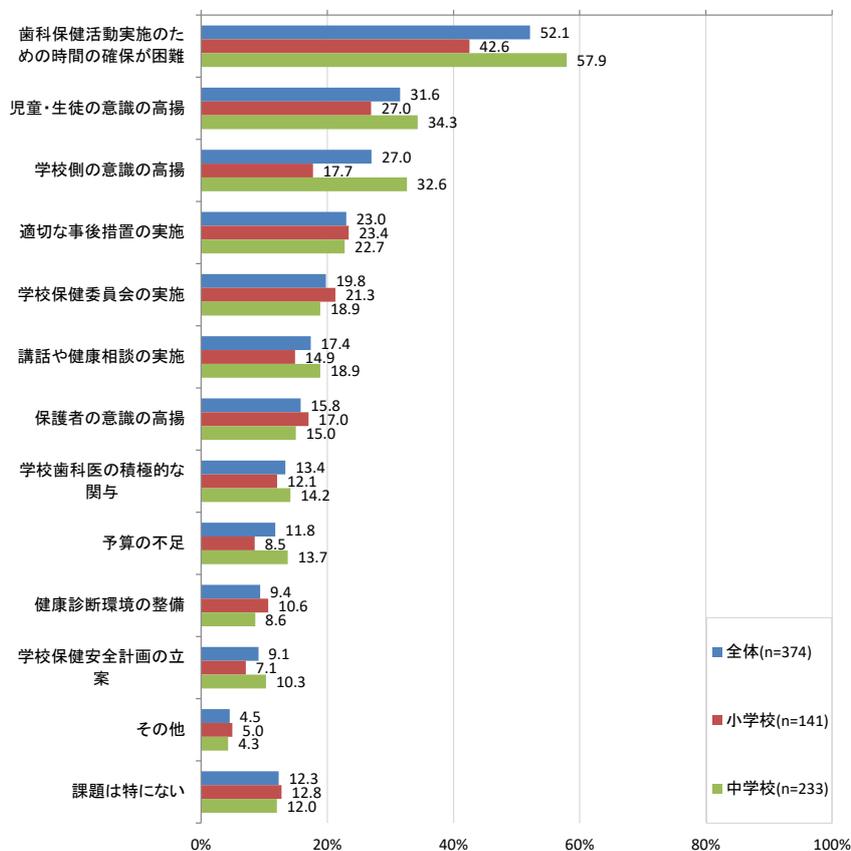


図 18 学校歯科保健を推進するうえで課題となっているもの（複数回答）【全体・学校別】

【学校歯科保健の環境・安全等】

19. 健康診断環境状況※新型コロナ禍以前の状況（図 19-1、図 19-2、19-3）

- 小学校（141 校）の 61.0%、中学校（233 校）の 58.4%は、健康診断用照明を学校で準備との回答であった。

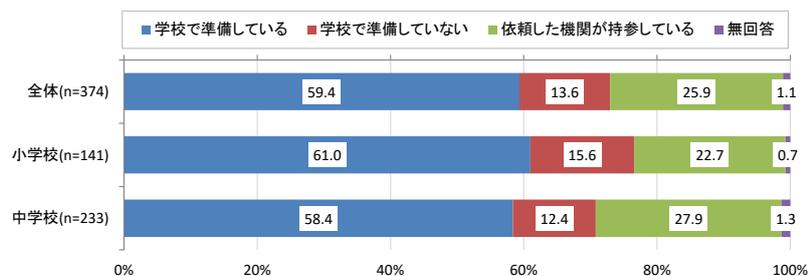


図 19-1 健康診断用照明【全体・学校別】

- 歯鏡の配備は、「学校で児童・生徒数分を配備」が小学校（141 校）で 56.0%、中学校（233 校）56.2%と最も多く、次いで「依頼した機関が持参」が小学校 34.8%、中学校 34.3%であった。

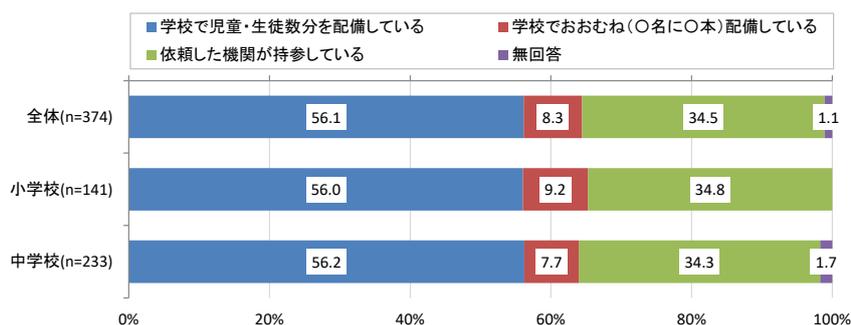


図 19-2 歯鏡の配備状況【全体・学校別】

- 健康診断器具の消毒は、小学校（141 校）では「オートクレーブ」が 13.5%、「煮沸消毒」が 16.3%、「薬液消毒」が 5.7%、「ディスポーザブル使用」が 22.0%、「消毒業者へ依頼」が 27.0%、「その他」が 14.9%であった。中学校（233 校）では、「オートクレーブ」が 17.6%、「煮沸消毒」が 20.6%、「薬液消毒」が 3.0%、「ディスポーザブル使用」が 25.8%、「消毒業者へ依頼」が 21.5%、「その他」が 8.6%であった。

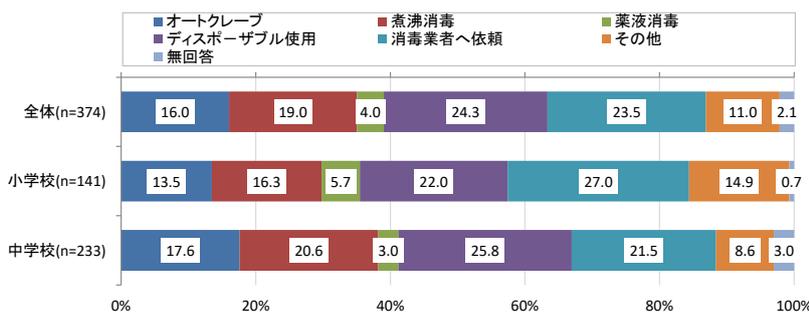


図 19-3 健康診断器具の消毒状況【全体・学校別】

20. 歯の破折や、脱臼等、歯の外傷（図 20-1～図 20-4）

- 災害給付制度の加入については、日本スポーツ振興センターの災害給付制度が小学校（141 校）91.5%、中学校（233 校）91.0%で最も多かった。

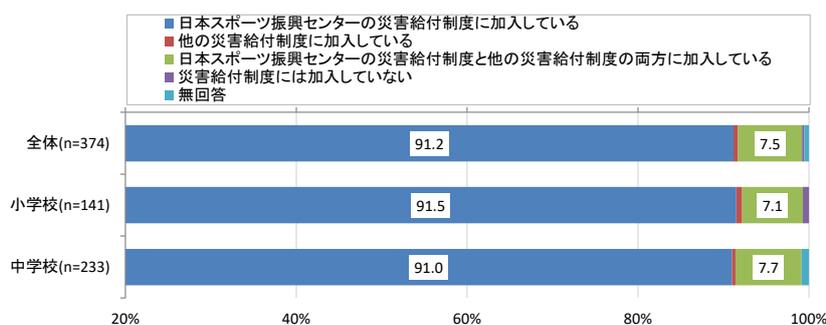


図 20-1 災害給付制度の加入状況【全体・学校別】

- 昨年（2019年）度の歯の破折や脱臼等、歯の外傷の年間発生件数は、「0件」が小学校（141校）35.5%、中学校（233校）61.8%であった。

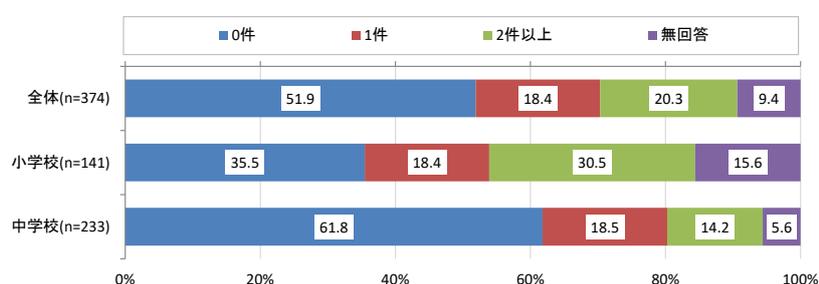


図 20-2 年間発生件数【全体・学校別】

- 小学校（141校）の45.4%、中学校（233校）の64.8%では、昨年（2019年）度の災害給付制度で給付を受けた件数が0件であった。

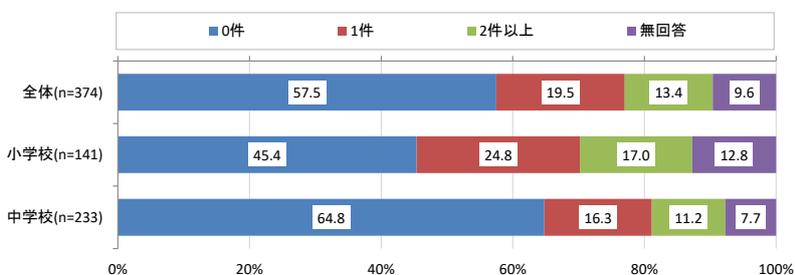


図 20-3 災害給付制度で給付を受けた件数【全体・学校別】

- 小学校（141校）の70.9%、中学校（233校）の68.2%で、脱落歯の保存液を配備との回答であった。

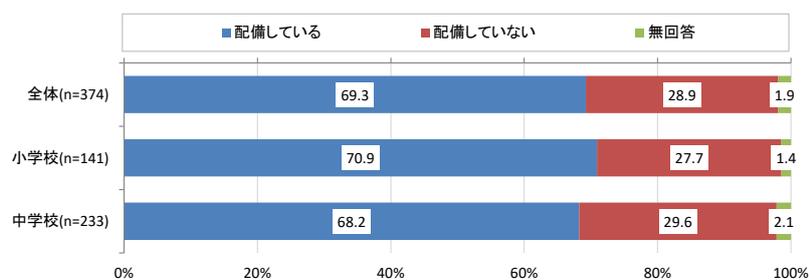


図 20-4 脱落した歯の保存液の保健室での配備状況【全体・学校別】

【学校歯科医の身分・身分保証】

21. 学校歯科医の主な採用方法（図 21）

近隣の歯科医に直接依頼が小学校（141校）で24.1%、中学校（233校）で28.3%であった。

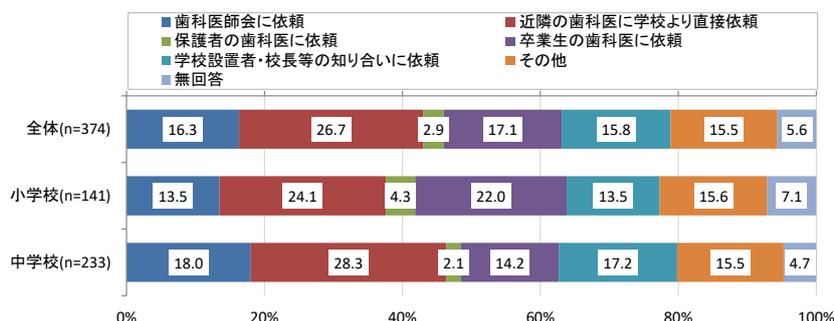


図 21 学校歯科医の主な採用方法【全体・学校別】

【新型コロナ禍での対応】

22. 学校歯科保健に関連してコロナ対策を行う上での情報の入手先（図 22）複数回答

文部科学省が小学校（141校）で87.9%、中学校（233校）で89.7%と最も多く、次に「厚生労働省」が小学校（141校）で59.6%、中学校（233校）で60.9%であった。

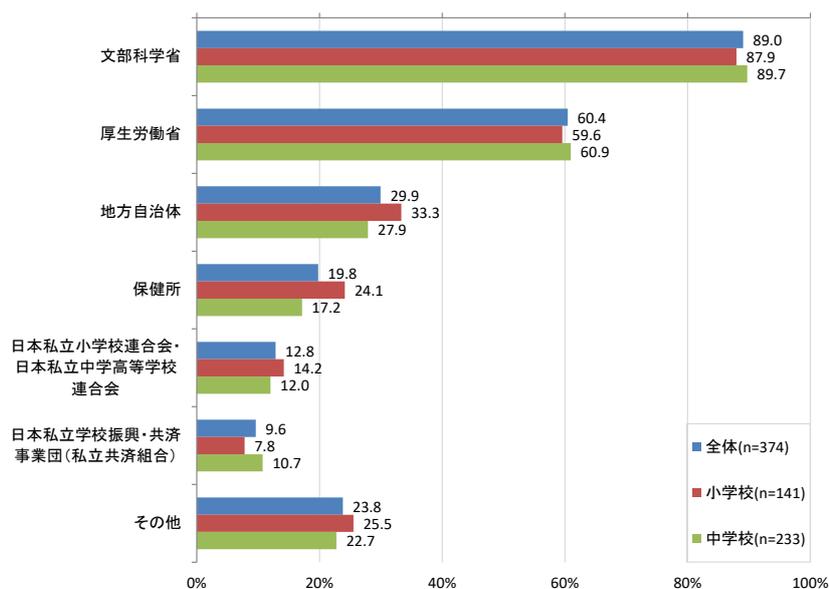


図 22 学校歯科保健に関連してコロナ対策を行う上での情報の入手先（複数回答）【全体・学校別】

23. コロナ対策を行う上で学校歯科医との連携の有無（図 23）

小学校（141校）の52.5%、中学校（233校）の58.4%が、連携しているとの回答であった。

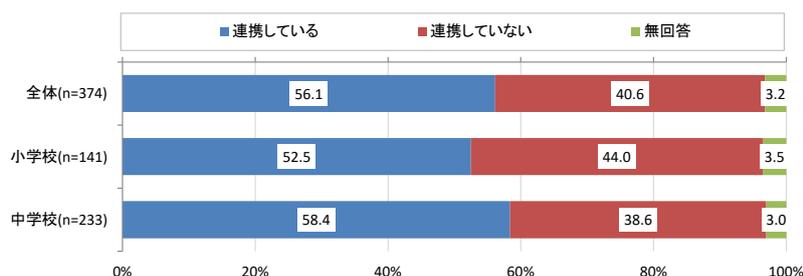


図 23 コロナ対策を行う上で学校歯科医との連携の有無【全体・学校別】

24. 他の私立学校と連携しての対策の有無（図 24）

小学校（141校）の31.2%、中学校（233校）の32.2%が、連携を行っているとの回答であった。

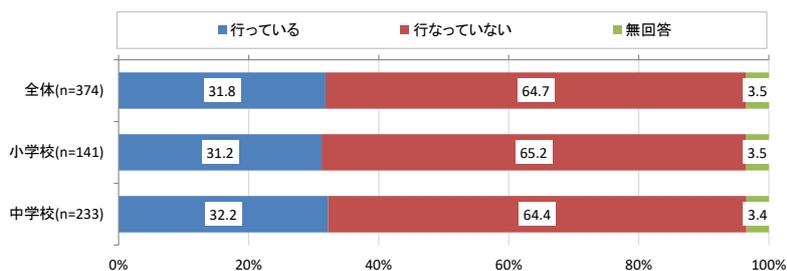


図 24 他の私立学校と連携しての対策の有無【全体・学校別】

25. 学校歯科健康診断の実施状況（図 25-1、図 25-2）※新型コロナ禍において

- 小学校（141校）の86.5%、中学校（233校）の85.4%が、日程を変更したとの回答であった。

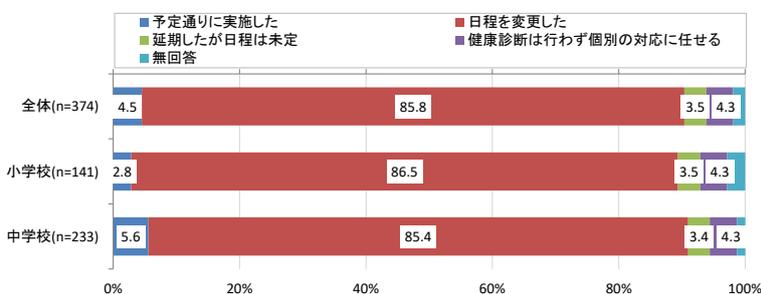


図 25-1 学校歯科健康診断の実施状況【全体・学校別】

- 変更した月は、「9月」が小学校（122校）で33.6%、中学校（199校）で30.2%であった。

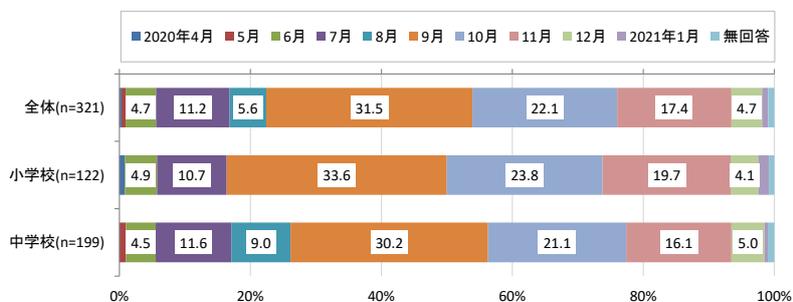


図 25-2 変更した月【全体・学校別】

【その他】

26. 学校歯科医の日本学校歯科医会（日学歯）への入会状況（図 26）

小学校（141校）の45.4%、中学校（233校）の56.2%が、入会（「はい」）との回答であった。

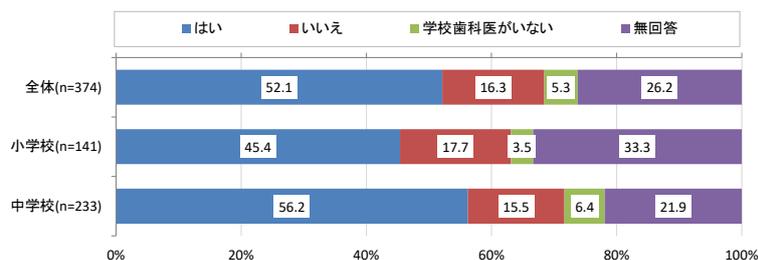


図 26 学校歯科医の日本学校歯科医会（日学歯）への入会状況【全体・学校別】

◆令和1・2年度 普及委員会（普及ワーキンググループ）◆

委員長 川戸貴行

副委員長 荻部 充

委員 荒井孝仁

谷口信一

川上 力

アドバイザー 福田雅臣

相田 潤

担当役員 柘植紳平（副会長）

今井健二（常務理事）

吉岡弘二（理事）

公益社団法人 日本学校歯科医会

〒102 - 0073 東京都千代田区九段北 4 - 1 - 20 歯科医師会館 4F

TEL : 03 - 3263 - 9330 FAX : 03 - 3263 - 9634

日本学校歯科医会は令和3年4月1日より公益社団法人に移行いたしました。